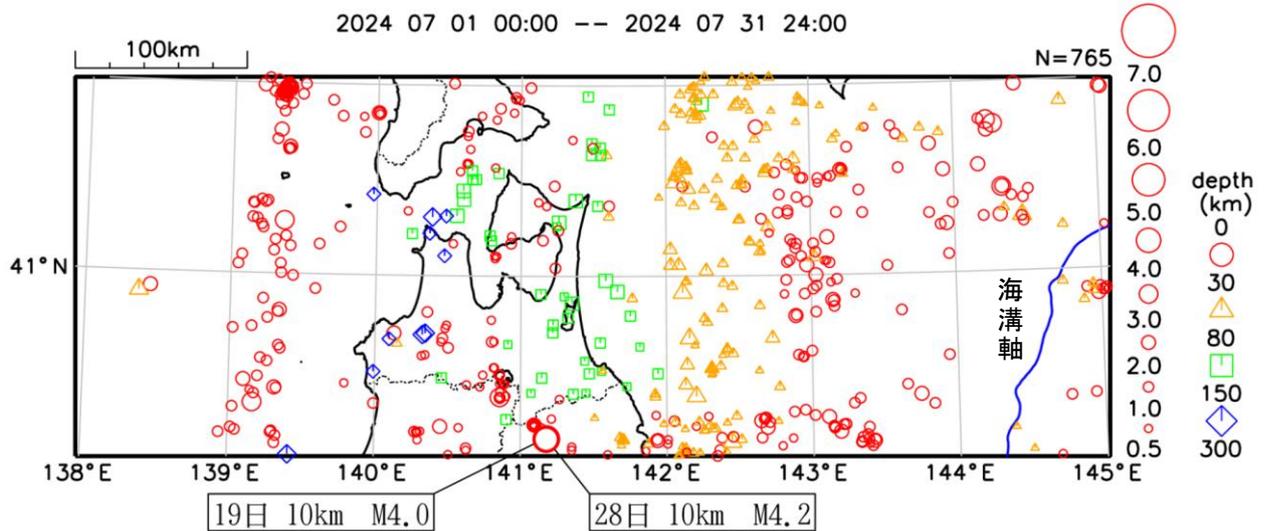


青森県月間地震概況

2024年7月

青森地方気象台

震央分布図



震央：震源（地下の岩盤破壊が最初に始まった点）の真上に向かって地表に投影した点
M（マグニチュード）：地震の規模

吹き出しをつけた地震は概況で取り上げたもの。

【7月の地震概況】

この期間、青森県とその周辺を震源とする地震の回数は765回、県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は13回であった。

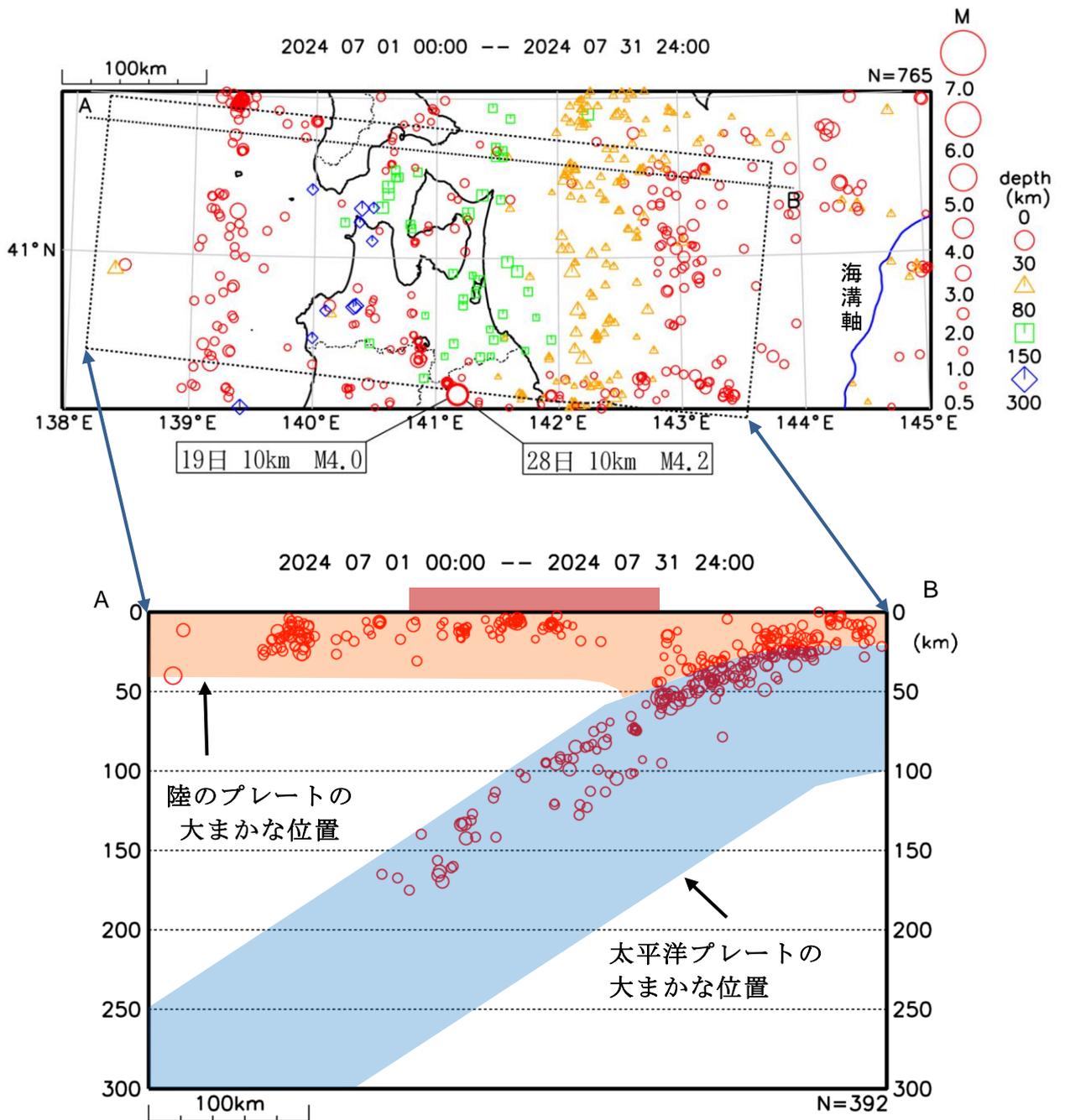
19日14時27分に岩手県内陸北部の深さ10kmでM4.0の地震が発生し、岩手県二戸市で震度4を観測したほか、北海道、青森県、岩手県及び秋田県で震度2～1を観測した。県内では、津軽南部の一部と三八上北で震度1を観測した。この地震は地殻内で発生した。

また、28日00時58分に19日の地震とほぼ同じ場所の深さ10kmでM4.2の地震が発生し、岩手県二戸市で震度4を観測したほか、北海道、青森県、岩手県、宮城県及び秋田県で震度2～1を観測した。県内では三八上北で震度2を観測したほか、津軽北部及び津軽南部の一部、そして三八上北や下北で震度1を観測した。この地震は地殻内で発生した。

各地の震度の詳細については「青森県で震度1以上を観測した地震の表」を参照。

地震の震源要素及び震度データは、再調査により変更することがある。

断面図（震央分布図内の破線領域内のA点からB点の断面における震源の深さ）



※太平洋プレート及び陸のプレートの位置は、地震発生状況を考慮して描いた大まかなものである。

※ は陸地の大まかな位置を示している。

※陸地から離れた海域（概ね陸地から200km以遠）ほど、震源の深さに関する精度は良くない。なお、沖合の地震の震源は、実際はより浅いところのことが多いと考えられる。

青森県で震度 1 以上を観測した地震の表

※今後の精査により、震源や震度のデータが追加されることがある。

期間 2024年7月1日～2024年7月31日

発震時	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
各地の震度					
2024年07月05日11時08分	秋田県内陸北部	40° 21.8' N	140° 51.4' E	6km	M3.2
青森県	震度 1 : 青森南部町苫米地*				
2024年07月06日03時14分	上川地方北部	44° 20.4' N	142° 25.0' E	243km	M5.0
青森県	震度 1 : 八戸市南郷* 階上町道仏* むつ市大畑町中島* 東通村砂子又沢内*				
2024年07月08日23時02分	青森県東方沖	40° 40.3' N	142° 09.5' E	54km	M3.3
青森県	震度 1 : 八戸市湊町				
2024年07月09日01時26分	岩手県沿岸北部	39° 45.4' N	141° 50.7' E	58km	M3.7
青森県	震度 1 : 青森南部町苫米地*				
2024年07月19日07時54分	宗谷東方沖	45° 40.7' N	143° 12.9' E	335km	M4.6
青森県	震度 1 : 階上町道仏*				
2024年07月19日14時27分	岩手県内陸北部	40° 08.6' N	141° 10.6' E	10km	M4.0
青森県	震度 1 : 田舎館村田舎館* 八戸市湊町 八戸市内丸* 八戸市南郷* 十和田市奥瀬* 三戸町在府小路町* 五戸町古館 田子町田子* 青森南部町苫米地* 青森南部町平* 階上町道仏*				
2024年07月19日17時08分	青森県東方沖	40° 54.7' N	142° 06.7' E	56km	M3.7
青森県	震度 1 : 八戸市湊町 八戸市内丸* 八戸市南郷* 五戸町古館 青森南部町苫米地* 階上町道仏*				
2024年07月21日05時46分	宮城県沖	38° 41.3' N	141° 56.9' E	57km	M4.6
青森県	震度 1 : 八戸市湊町 八戸市南郷* 三戸町在府小路町* 青森南部町苫米地* 階上町道仏*				
2024年07月22日09時38分	青森県東方沖	41° 34.2' N	142° 06.3' E	53km	M3.5
青森県	震度 1 : 東通村砂子又沢内*				
2024年07月23日08時27分	宮城県沖	38° 13.0' N	141° 48.2' E	66km	M4.7
青森県	震度 1 : 八戸市南郷* 青森南部町苫米地* 階上町道仏*				
2024年07月25日16時26分	宮城県沖	38° 21.9' N	141° 39.8' E	60km	M4.5
青森県	震度 1 : 階上町道仏*				
2024年07月28日00時58分	岩手県内陸北部	40° 08.8' N	141° 10.7' E	10km	M4.2
青森県	震度 2 : 十和田市奥瀬* 野辺地町田狭沢* 三戸町在府小路町* 五戸町古館 田子町田子* 青森南部町苫米地* 青森南部町平*				
	震度 1 : 青森市浪岡* 外ヶ浜町蟹田* 藤崎町水木* 大鰐町大鰐* 田舎館村田舎館* 平川市碓ヶ関* 平川市柏木町* 八戸市島守 八戸市湊町 八戸市内丸* 八戸市南郷* 十和田市西二番町* 三沢市桜町* 七戸町森ノ上* 六戸町犬落瀬* 横浜町林ノ脇* 東北町上北南* 五戸町倉石中市* 青森南部町沖田面* 階上町道仏* 新郷村戸来* むつ市大畑町中島* 東通村砂子又沢内* 風間浦村易国間* 佐井村長後*				
2024年07月28日19時13分	三陸沖	39° 28.6' N	143° 35.9' E	7km	M5.5
2024年07月28日19時13分	宮城県沖	38° 45.7' N	142° 25.7' E	45km	M3.9
青森県	震度 1 : 八戸市南郷* 七戸町森ノ上* 七戸町七戸* 六戸町犬落瀬* 東北町上北南* 三戸町在府小路町* 五戸町古館 青森南部町苫米地* 青森南部町平* 階上町道仏* おいらせ町中下田* おいらせ町上明堂*				

(注) 地震の震源要素等は、再調査により変更することがある。

複数の震源要素を併記しているものは、ほぼ同時刻に発生した地震のため震度の分離ができないことを示す。

各地の震度は青森県のみを示し、*は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点である。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

南海トラフ地震に関連する情報

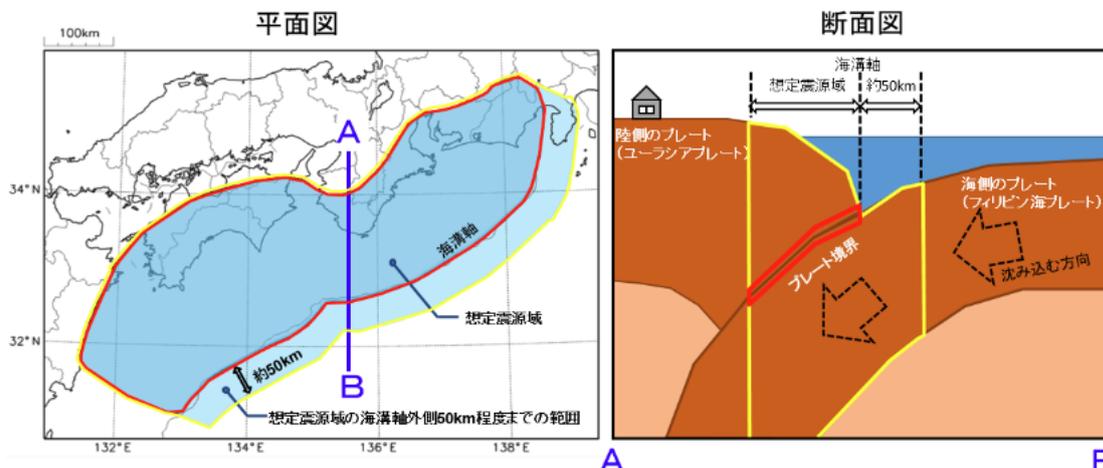
今月（2024年8月）、令和元年5月の運用開始から初めて「南海トラフ地震臨時情報」が発表されました。8月8日16時43分頃に日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生し、気象庁は同日17時00分に南海トラフ地震臨時情報（調査中）、同日19時15分に南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）を発表しました。

今回は「南海トラフ地震に関連する情報」と南海トラフ地震について紹介します。「南海トラフ地震に関連する情報」は、南海トラフ全域を対象に地震発生の可能性の高まりについてお知らせするもので、この情報の種類と発表条件は以下のとおりです。

■情報の種類と発表条件

南海トラフ地震の発生可能性が平常時と比べて相対的に高まったと評価された場合に気象庁から「南海トラフ地震臨時情報」が発表されます。

		(発表条件)
<p>i 南海トラフ地震臨時情報</p> <p>キーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査中 巨大地震警戒 巨大地震注意 調査終了 	■ 南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合	
	■ 観測された異常な現象の調査結果を発表する場合	
	■ 観測された異常な現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合	
	■ 南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界において M8.0 以上の地震が発生したと評価した場合	
	■ 南海トラフ地震の想定震源域内のプレート境界において M7.0 以上、M8.0 未満の地震が発生したと評価した場合	
<p>i 南海トラフ地震関連解説情報</p>	■ 想定震源域のプレート境界以外や、想定震源域の海溝軸外側 50km 程度までの範囲で M7.0 以上の地震が発生したと評価した場合	
	■ ひずみ計等で有意な変化として捉えられる、短い期間にプレート境界の固着状態が明らかに変化しているような通常とは異なるゆっくりすべりが観測された場合	
	■ 巨大地震警戒、巨大地震注意のいずれにも当てはまらない現象と評価した場合	
	■ 観測された異常な現象の調査結果を発表した後の状況の推移等を発表する場合	
	■ 「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の定例会合における調査結果を発表する場合（ただし臨時情報を発表する場合を除く）	



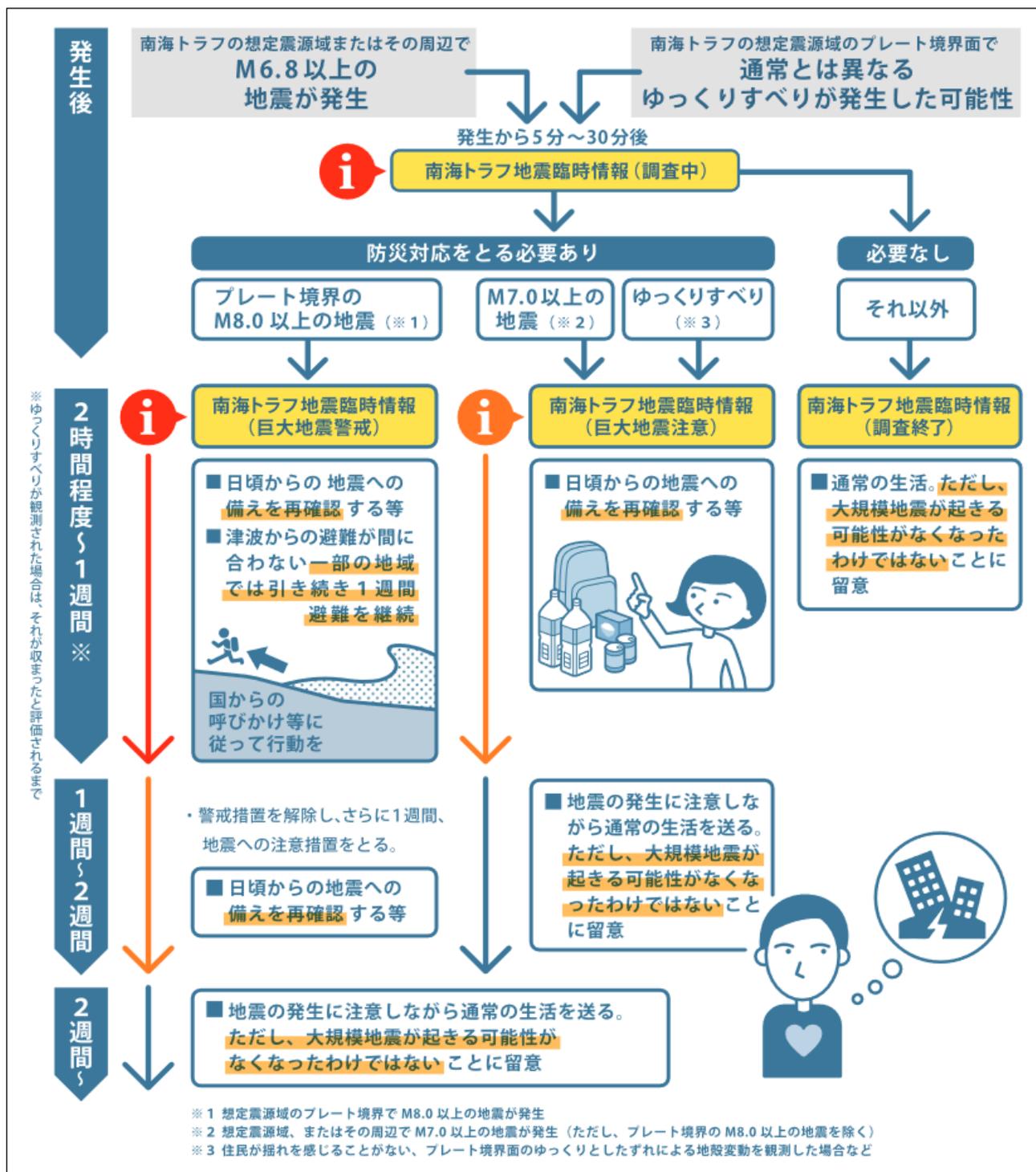
想定震源域内（科学的に想定される最大規模の南海トラフ地震の想定震源域（中央防災会議、2013）のプレート境界部（図中赤枠部）と監視領域（想定震源域内および想定震源域の海溝軸外側 50km 程度：図中黄枠部）

■想定震源域周辺での地震発生後の情報発表と防災対応の流れ

規模の大きな地震が発生した場合は、身の安全を確保することを第一に行動しましょう。「南海トラフ地震臨時情報」は、南海トラフ沿いで大規模地震が発生する可能性が平常時よりも高くなっていることをお知らせする情報です。

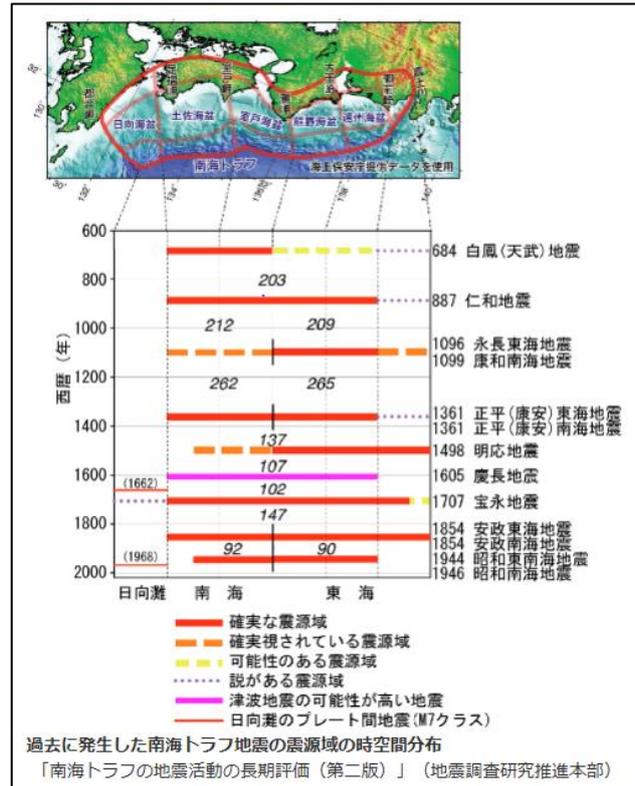
国は、「南海トラフ地震の多様な発生形態に備えた防災対応検討ガイドライン」
<https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/index.html#kentoguideline>

を公表し、発表された臨時情報に応じて、取るべき防災対応について基本的な考え方を示しています。



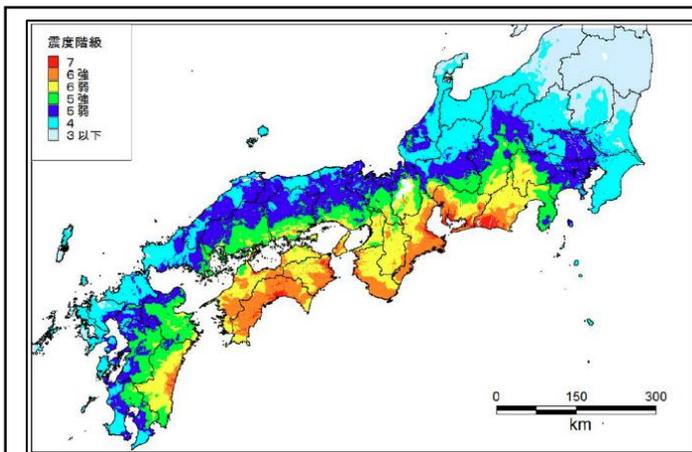
■そもそも南海トラフ地震とは

南海トラフ地震は、駿河湾から日向灘にかけてのプレート境界を震源域として概ね 100~150 年間隔で繰り返し発生してきた大規模地震です。前回の地震発生から約 80 年が経過した現在では、次の南海トラフ地震発生の切迫性が高まってきています。南海トラフ地震が発生すれば、広範囲で強い揺れと高い津波が発生し、甚大な被害が発生することが想定されます。

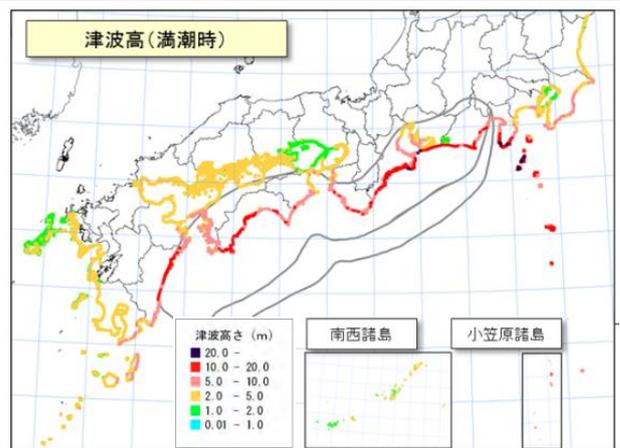


■南海トラフ巨大地震によって想定される被害

政府の中央防災会議は、科学的に想定される最大クラスの南海トラフ地震が発生した際の被害想定を実施しています。この被害想定によれば、静岡県から宮崎県にかけての一部では震度7となる可能性があるほか、それに隣接する周辺の広い地域では震度6強から6弱の強い揺れになると想定されています。また、関東地方から九州地方にかけての太平洋沿岸の広い地域に10mを超える大津波の襲来が想定されています。



南海トラフ巨大地震の震度分布
 （強揺動生成域を陸側よりに設定した場合）



南海トラフ巨大地震の津波高
 （「駿河湾～愛知県東部沖」と「三重県南部沖～徳島県沖」に「大すべり域+超大すべり域」を2箇所設定した場合）

■地震への備え

「南海トラフ地震臨時情報」をはじめとした防災情報の発表の有無に限らず、日頃から非常持出品の準備や点検、家具などの固定、家族が連絡をとるための方法や連絡先、避難場所と避難ルートの確認、そして大きな揺れを感じた時、その状況に応じた対応がとれるように普段からの備えと訓練が大切です。



■参考

- ・ 気象庁「南海トラフ地震に関連する情報の種類と発表条件」
https://www.data.jma.go.jp/egev/data/nteq/info_criterion.html
- ・ 気象庁「南海トラフ地震で想定される震度や津波の高さ」
<https://www.data.jma.go.jp/egev/data/nteq/assumption.html>
- ・ 内閣府「南海トラフ地震対策」
<https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/>
- ・ 内閣府「南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ」
https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/nankaitrough_info.html
- ・ リーフレット「南海トラフ地震 -その時の備え-」
<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/nteq/index.html>
- ・ マンガで解説！南海トラフ地震その日が来たら・・・
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/nteq_manga/index.html